

2020（令和2）年度 事業報告書

公益財団法人日本ハンドボール協会

1. 競技力向上に関する事業

1) 強化関連会議・施策など

- (1) 強化委員会 12回/年 (Zoom 会議)
- 東京2020オリンピック延期決定を受けて、強化計画の見直し実施。
 - 2020年度各カテゴリー国際大会派遣検討
 - 2021年度強化スタッフを選定。(強化・情報科学・体力科学・医事委員会との協働)
 - 2021年度強化スケジュールを作成。
 - 2020年度「JOC強化指定選手」第2四半期～第4四半期の選出、JOCへの提出。
 - 2021年度「JOC強化指定選手」第1四半期の選出、JOCへの提出。
 - 「選手強化・育成サポートシステム」導入検討開始→2021年度継続。
- (2) 協働コンサルテーション会議 (スポーツ庁・JSC・JOC・JHA) 2回/年
- 「2020・24強化戦略プラン」を改訂し、スポーツ庁・JSC・JOCと共有。
- (3) 東京2020強化ミーティング (JOC主催) 6回/年
- 新型コロナウイルス感染症対策に関して競技間での情報共有。
 - 東京2020オリンピックに向けた準備状況の情報共有。他

2) 国際大会・国際交流親善試合

チーム名	大会名	日程	場所	結果
男女U-24	第25回世界学生選手権	06/15-06/21	ポーランド	*開催中止
女子U-18	第8回女子ユース世界選手権	09/29-10/11	クロアチア	*開催中止
女子U-20	第22回女子ジュニア世界選手権	12/01-12/13	ルーマニア	*開催中止
女子代表	第27回女子アジア選手権	未定	未定	*2021年度に開催延期 (韓国開催)
男子代表	第27回男子世界選手権	01/13-01/31	エジプト・カイロ、アレクサンドリア	優勝: DEN、2位: SWE、3位: ESP 19位 JPN
男子U-18	第9回男子ユースアジア選手権	03/01-03/12	カザフスタン・アルマイト	*2021年度に開催延期
男子U-21	第17回男子ジュニアアジア選手権	03/20-03/29	バーレーン・マナマ	*参加見送り

3) 海外強化合宿

チーム名	事業名	日程	場所	参加人数計 (選手、スタッフ)
男子代表	第1回エジプト遠征	01/02-01/12	エジプト・カイロ	30名 (選手20名、スタッフ10名)

4) 国内強化合宿 (男女代表)

チーム名	事業名	日程	場所	参加人数 (役員・選手)
男子代表	第1回	11/04-11/10	ANTC	32名 (選手20名、スタッフ12名)
	第2回	12/14-01/02	ANTC	34名 (選手21名、スタッフ13名)
	第3回	03/18-03/31	愛知県、ANTC	34名 (選手22名、スタッフ12名)
女子代表	キャラバン指導	11/05-11/20	愛知県、岐阜県、三重県、石川県、大阪府、広島県、熊本県、鹿児島県	151名 (選手148名、スタッフ3名)
	第1回	11/24-12/08	ANTC	37名 (選手29名、スタッフ8名)

5) 国内強化合宿（男女アンダー代表）

チーム名	事業名	日程	場所	参加人数（役員・選手）
男子U-21	第1回	01/19-01/22	東京都・国士舘大学	*新型コロナウイルス感染症対策のため中止
男子U-19	第1回	01/12-01/17	愛知県・豊田合成㈱健康管理センター	*新型コロナウイルス感染症対策のため中止
	リモート合宿	02/07-03/07	各地（リモート）	31名（選手25名、スタッフ6名）

6) その他

事業名	日程	場所	参加人数
トレーナーブロック長会議	会議実績なし		
トレーナー総会	会議実績なし		
情報科学専門委員会全体会議	会議実績なし		
体力科学専門委員会全体会議	8月	メール会議	5名
	10月	メール会議	5名
	12月	メール会議	5名
	2月	メール会議	5名
	3月	メール会議	5名

7) 日本代表チーム

(1) 男子日本代表

新型コロナウイルス感染症の影響で上半期の強化計画を全てキャンセルした。11月4日～10日、12月14日～1月2日で感染症対策も施し強化合宿を実施。1月3日～12日でエジプトにて世界選手権前の現地での最終調整を行い、第27回男子世界選手権（1月13日～30日）に臨んだ。予選ラウンドで第3位となり、決勝ラウンドへ進出、最終順位として第19位で大会を終えた。大会後の帰国した際には、緊急事態宣言下となったことにより、アスリートトラック措置の適用が見送られる事態となり、各所属で14日間の自主待機措置となった。

(2) 女子日本代表

男子同様に新型コロナウイルス感染症の影響で上半期の強化計画を全てキャンセルした。12月に予定されていた第18回女子アジア選手権の延期が決定され2020年度内の国際大会はなくなり、11月24日～12月8日で感染症対策も施し強化合宿を実施。この強化合宿が唯一のチームとして集合した代表活動となった。監督の来日にあたっては、スポーツ庁をはじめ関係省庁の指導のもと、JSC及びJOCの協力を得て直接指導できる環境を作った

8) アンダーカテゴリー

(1) 男子アンダー日本代表

本年度はアジアでのチャレンジであったが、新型コロナウイルス感染症の影響で、第17回男子ジュニアアジア選手権及び第9回男子ユースアジア選手権（2021年6月）への派遣を見合わせた。IHFは2021年度開催予定であった第23回男子ジュニア世界選手権及び第9回男子ユース世界選手権の中止を既に決定した。強化合宿についても全てキャンセルとしたが、オンライン（Zoom）にてミーティング（トレーニング方法・栄養・アンチ・ドーピング・戦術理解など）実施。

(2) 女子アンダー日本代表

本年度は世界へのチャレンジであったが、新型コロナウイルス感染症の影響で、再三大大会の開催予定が変更となり、また国内の状況を勘案しながら、強化活動のタイミングを探ってきたが、第8回女子ユース世界選手権及び第22回女子ジュニア世界選手権の量大会が中止となった。強化合宿についても実施寸前まで計画を進めたが、実施までには至らず、全てキャンセルとした。

9) 分析活動（情報科学専門委員会）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各チーム（シニア、アンダーカテゴリー）の活動が縮小、または中止となった。男女シニア代表チームの活動は、下記の通りである。

(1) 男子日本代表

第27回世界選手権にアナリストが帯同し、試合の撮影や分析サポートを実施した。また、国内合宿（3回）においては、チームサポートとともにSidelineを使用してのPlaybook作成を実施した。活動内容としては、大会中はスタッフのリクエストに対する映像編集作業を中心とし、トレーニング中は映像撮影を主な作業とした。また、トレーニング中撮影された映像は、Sidelineを利用して、スタッフ・選手のコミュニケーションツールとして活用された。

(2) 女子日本代表

国内合宿1回のみでの活動となった。活動内容としては、トレーニング中の映像撮影による選手へのフィードバックや戦術の理解、個々のスキル改善等、多岐に渡り実施した。

10) 体力サポート活動（体力科学専門委員会）

本委員会の体力向上事業は、特にジュニア選手の新体力データベース作成・基準づくり・現場運用である。2017年度から継続している新体力テスト測定事業は今年度で4年目を迎え、現在までに計2,497名（NTA、NTS、J-star）のジュニア選手の体力値を保有し、ビッグデータとしての価値を高めている。トレーナビリティが期待されるジュニア期（主に11歳から17歳まで）の体力について把握し、その性別・年齢別に規準グレードを示すことは、適切な選手育成とチーム力強化に寄与すると思われる。しかしながら、2020年1月より世界的に流行した新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の体力科学専門委員会事業はそのほとんどが中止（事業停止）となった。

(1) 国内体力測定実施・フィードバック事業の実施報告

- 2020年度ジャパンライジングスタープロジェクト（J-STAR）における体力向上事業：
競技転向型のタレント選手（3期生9名、4期生開催なし）の体力向上事業は、2020年10月（北海道）と2021年2、3月（仙台）に計3回実施された。これら3回の合宿では、ハンドボール技術トレーニングと併行して体力トレーニング指導も実施され、本委員会専門測定員による体力測定会も開催された。また同事業では、本協会と日本スポーツ協会が連携し、体力測定内容（選手選考内容）の検討、専門測定員による体力測定評価、結果検証、トレーニング活用も進められた。
- 2020年度NTS・NTAトレーニングでの体力測定と体力基準づくり：
本委員会では、これまで指導・育成・普及委員会のNTS・NTA担当と連携し、NTS全国ブロックトレーニング、NTA合宿トレーニング時に体力測定会を行ってきており、本委員会の中心的な事業となっていた（リーダー；福田潤委員）。しかし今年度は、感染症流行の影響によりNTSブロック・センターの各集合トレーニングが中止され、またNTAの活動もオンライントレーニングに変更された。このため、今年度のNTS・NTAにおける対面的な体力サポート事業は実施されなかった。代替事業として実施されたNTSチャレンジトレーニング（全国トライアウト）では、選手の自己申告による体力データが得られたために、本委員会での提出されたデータの分析・評価を実施した。

(2) 海外体力分析評価事業の実施報告

海外分析チーム（リーダー；明石光史委員）によって、主に欧州プレーヤーをターゲットにした体力分析を行う計画であったが、2020年度は複数の国際試合が中止となった。現在、2021年1月末にエジプトで実施された男子世界選手権を含めて選手形態分析を進めているが、十分なデータが得られている状況ではない。統計学的な検証等が可能となった時点で、国内測定チームと協力し、国内外選手の体力比較分析などを実施する予定である。

(3) 成果物について

まず、ジャパンライジングスタープロジェクト（J-STAR）における体力向上事業報告をJ-STAR委員会に提出した。内容は、3期生体力測定の結果、体力評価報告、4期生選出のための体力基準値であった。また、NTSチャレンジトレーニングでは、選手から提出された自己申告による体力データを本委員会に纏め、NTS委員会へ体力測定結果および体力評価報告を行なっ

た。ただし、自己申告による体力データについては、その測定精度が低い可能性が分析中に伺えたために、過去の実測データに追加することは避けてビッグデータのアップデートは行っていない。

1 1) 医事活動および医科学調査研究 (医事専門委員会)

(1) 2020 年度 おりひめジャパン・コンディショニングクリニック

実施日：11 月 24 日、場所：ANTC

対 象：おりひめジャパン候補選手 約 29 名

- ハンドボールに関する各種測定 (フィールド測定・筋力測定等)
- 動作機能評価と修正トレーニング・競技スキル
- バランスチェック・傷害調査・セルフコンディショニングツール (ONE-TAP)
- 栄養指導・アンチ・ドーピング研修・メンタル指導・行動規範指導

(2) 第 27 回男子ハンドボール世界選手権活動 (1 月 13 日～1 月 31 日・エジプト)

- 帯同ドクター (沖本)

(3) 女子代表チームへのトレーナー派遣

- キャラバン指導 11 月 5 日～11 月 20 日 代表所属チーム訪問 (9 チーム)
- 第 1 回強化合宿 11 月 24 日～12 月 8 日 場所：ANTC

(4) 男子代表チームへのトレーナー派遣

- 第 1 回強化合宿 11 月 4 日～11 月 10 日 場所：ANTC
- 第 2 回強化合宿 12 月 14 日～1 月 2 日 場所：ANTC
- エジプト遠征及び第 27 回男子世界選手権 1 月 3 日～1 月 31 日 場所：エジプト
- 第 3 回強化合宿 3 月 18 日～3 月 31 日 場所：豊田合成、ANTC

1 2) スポーツ・インテグリティ教育 (インテグリティ専門委員会)

男女代表においては 2020 年度 JOC インテグリティ教育推進事業に則って計画したが、その多くがコロナ禍により計画変更となった。アンダーカテゴリーにおいてもほとんどの合宿が中止となった。一部リモート合宿のみ実施した。

(1) オリンピック強化指定選手向け (オンライン研修)

- 基礎研修プログラム
 - 11 月 6 日 女子 2 名 (宮川裕美、藤井紫緒)
 - 1 月 19 日 男子 1 名 (山田信也) 女子 1 名 (相澤菜月)
 - 2 月 6 日 男子 3 名 (高野颯太、小塩豪紀、中村匠) 女子 1 名 (近藤万春)
- 講師派遣研修プログラム・NF 個別プログラム
 - 【男子日本代表】
 - 4 月合宿 アンチドーピング・インテグリティ総論・行動規範 (コロナ禍により合宿中止)
 - 5 月合宿 ソーシャルメディアとの向き合い方 (コロナ禍により合宿中止)
 - 6 月合宿 マスメディアとの向き合い方、言葉の教養、スポーツの多様性について考える (コロナ禍により合宿中止)
 - 11 月 4 日 行動規範とモラル・新型コロナ感染症予防対策について (JHA 河上)
 - 11 月 9 日 アンチ・ドーピング研修 (JHA 沖本ドクター)
 - 12 月 14 日 行動規範とモラル・新型コロナ感染症予防対策について (JHA 河上)
 - 12 月 18 日 インテグリティ研修 (JHA 野呂副会長)
 - 3 月 22 日 メディアトレーニング (JHA 広報羽田氏)
 - 【女子日本代表】
 - 4 月合宿 迫りくる薬物から身を守る・ソーシャル、メディアとの向き合い方、アンチ・ドーピング・行動規範 (コロナ禍により合宿中止)
 - 6 月合宿 ハラスメント・マスメディアとの向き合い方 (コロナ禍により合宿中止)
 - 10 月合宿 インテグリティ総論 (コロナ禍により合宿中止)
 - 11 月 24 日 行動規範とモラル・新型コロナ感染症予防対策について (JHA 河上)
 - 12 月 2 日 選手と SNS (山内氏)

- 12月4日 インテグリティ研修 (JHA 野呂副会長)
- オンライン研修プログラム (JOC アスリートアプリ) 各自申込
ランキングダム 19位/57団体 (2021年3月31日時点)
- (2) ナショナルコーチ・JOC強化スタッフ向けプログラム
 - 自由参加型研修プログラム 各自個別申込
 - 第1回9月17日「動画配信サービス You Tube について学ぶ」Google Japan
 - 第2回10月28日「スポーツにおけるハラスメントについて学ぶ」
牛島総合法律事務所 弁護士 柳田 忍氏
 - 第3回11月25日「実例&仲裁案件から学ぶ選手・指導者スタッフのためのアンチ・ドーピング」TIM 総合法律事務所 弁護士 藤巻氏 小塩氏
 - 第4回12月20日「危機を乗り越えるための謝る技術」竹中 功氏
 - 第5回1月28日「Twitterセミナー」Twitter Japan 北野達也氏
 - 第6回3月22日「ストレスに負けないマインドセットの持ち方」
7人制ラグビー男子代表チームスポーツサイコロジスト 田中勝悟氏
 - オンライン研修プログラム (JOC アスリートアプリ) 各自申込
ランキングダム 19位/57団体 (2021年3月31日時点)
- (3) その他選手・指導者向け
NF強化指定選手、ジュニア選手、所属・地域の指導者等対象
【男子アンダー日本代表】
 - U-16 10月合宿 日本代表としての行動規範・アンチ・ドーピング (コロナ禍により合宿中止)
 - U-19 4月～ 日本代表としての行動規範・アンチ・ドーピング (コロナ禍により合宿中止)
 - U-19 2月22日 リモート合宿 アンチ・ドーピング (大西信三ドクター)
選手25名、スタッフ5名
 - U-21 4月～ 日本代表としての行動規範・アンチ・ドーピング (コロナ禍により合宿中止)
 【女子アンダー日本代表】
 - U-16 10月合宿 日本代表としての行動規範・アンチ・ドーピング (コロナ禍により合宿中止)
 - U-18 4月～ 日本代表としての行動規範・アンチ・ドーピング (コロナ禍により合宿中止)
 - U-20 4月～ 日本代表としての行動規範・アンチ・ドーピング (コロナ禍により合宿中止)
- (4) NF担当者向け
 - 9月15日 JOC-NF担当者個別ミーティング (ZOOM) 河上
 - 6月23日 第1回 JOC-NF インテグリティ教育推進チーム会議 (ZOOM) 河上・高野内
 - 10月28日 第2回 JOC-NF インテグリティ教育推進チーム会議 (ZOOM) 河上
田口専務理事、高野内、舍利弗、藤田、芳村、河上
 - 2月17日 第4回 JOC-NF インテグリティ教育推進チーム会議 (ZOOM) 河上、舍利弗

1 3) 強化部会

- 男子強化部会は、国際大会派遣に関する情報収集を行い、強化委員会への提言をまとめた。また、オンラインでのミーティング実施のサポートを行った。
- 女子強化部会も、国際大会派遣に関する情報収集を行い、強化委員会への提言をまとめた。加えて、今後のアンダー強化に関する課題整理に着手した。

1 4) 強化育成戦略委員会

強化育成戦略委員会は、ワーキンググループを編成して、現状把握をまとめ、JHA 中期基本計画作成とリンクさせながら、将来像を明確にする作業を開始した。年度末の進捗としては、現状把握を終了し、強化育成戦略委員会 (ワーキンググループ) から強化本部・指導普及本部・競技本部 (運営・審判) へ資料提供をし、各本部にて中期基本計画策定に入る段階である。

1 5) 将来人材 (国際的競争力のあるマネージメントできる人材及び指導者) の育成

ポスト 2020 に向けた中期基本計画に明示することで、加速的にシステム構築を目指す。本年度については、先に記した強化育成戦略委員会 (ワーキンググループ) での現状把握が主な実績である。

2. 指導・普及事業

1) <発掘部>

《NTS委員会》

ナショナルトレーニングシステム (NTS)

実施時期	概要	場所
4/18 (土)	第1回運営会議	Web会議
11/29 (日)	第2回運営会議	Web会議
11/24 (火) ~ 1/31 (日)	チャレンジトレーニング 合計 251名 U16男子 68名、U16女子 87名、U13男子 50名、U13女子 46名	Web

《アカデミー委員会》

ナショナルトレーニングアカデミー (NTA)

実施時期	概要	場所
8/23	リモートトレーニング テスト 参加者：スタッフ5名選手31名 計36名	Web
9/6	第1回女子リモートトレーニング 参加者：スタッフ14名選手16名 計30名	Web
9/13	第1回男子リモートトレーニング 参加者：スタッフ15名選手12名 計27名	Web
9/27	第1回リモートトレーニング補講 参加者：スタッフ4名選手1名 計5名	Web
10/4	第2回リモートトレーニング 参加者：スタッフ15名選手27名 計42名	Web
11/9	第3回リモートトレーニング 参加者：スタッフ13名選手25名 計38名	Web
12/7	第4回リモートトレーニング 参加者：スタッフ14名選手23名 計37名	Web
2/8	第5回リモートトレーニング 参加者：スタッフ14名選手27名 計41名	Web
3/8	第6回リモートトレーニング 参加者：スタッフ15選手32名 計47名	Web

《キャラバン委員会》

ナショナルトレーニングキャラバン (NCa) コロナ禍により活動実績なし

《発掘委員会》

ジャパン・ライジング・スタープロジェクト (J-STAR プロジェクト)

(1) 実行委員会

実施時期	概要	場所
5/8	第1回実行委員会 委員/参加者人数9名、事務局1名	Web会議
6/19	第2回実行委員会 委員/参加者人数6名、事務局2名	Web会議
7/17	第3回実行委員会 委員/参加者人数6名、事務局2名	Web会議
8/7	臨時実行委員会 委員/参加者人数7名、事務局2名	Web会議
8/21	第4回実行委員会 委員/参加者人数4名、事務局2名	Web会議
9/4	第5回実行委員会 委員/参加者人数7名、事務局2名	Web会議
10/16	第6回実行委員会 委員/参加者人数6名、事務局2名	Web会議
11/17	第7回実行委員会 委員/参加者人数6名、事務局2名	Web会議
12/15	第8回実行委員会 委員/参加者人数6名、事務局2名	Web会議
1/19	第9回実行委員会 委員/参加者人数5名、事務局2名	Web会議
2/16	第10回実行委員会 委員/参加者人数6名、事務局2名	Web会議
3/9	臨時実行委員会 委員/参加者人数5名、事務局2名	Web会議
3/19	第11回実行委員会 委員/参加者人数5名、事務局2名	Web会議

(2) 合宿

- ① 検証合宿 令和2年10月9日～10月12日 札幌市 札幌真栄高、札幌西高
- ② 検証合宿 令和3年2月26日～3月1日 宮城県柴田町 仙台大学
- ③ 地域別合宿 令和3年2月13日～2月14日 宮城県柴田町 仙台大学

2) <指導部>

<指導委員会>

(1) 指導者組織・資格関連

- ① 公認コーチ養成講習会専門科目講習会 中止
- ② 公認コーチ養成講習会免除適応コース専門科目検定試験
期日：1/30～31 場所：Web講習会 受講者：32名
- ③ 指導委員会全国会議および研修会（JSP0指導者資格更新研修）
期日：2/27 場所：Web会議 受講者：33名

(2) テクニカル・情報発信関連

- ① 小学生用イヤブック作成 全国で活動している小学生全員に配布

3) <普及部>

<学校体育専門委員会>

- (1) 第1回学校体育専門委員会 期日：11/19 場所：愛知県刈谷市
- (2) 第23回ハンドボール研究集会 期日：11/19～20 場所：愛知県刈谷市，名古屋市
オンライン参加者：173名，会場参加者15名

<マスターズ専門委員会>

- (1) 2020第1回マスターズ専門委員会 中止
- (2) 第4回全日本マスターズ大会（シニア大会） 大会中止
- (3) 第28回全日本マスターズ大会（交流型・順位決定型・11人制大会） 大会中止
- (4) 2020第2回マスターズ専門委員会
2021年3月13日（日） 会場：愛知県ハンドボール協会事務所（全国委員はリモートにて参加）

4) <育成部>

<小学生専門委員会>

- (1) 第1回小学生専門委員会 期日：5/9 Web会議
- (2) 第2回小学生専門委員会 期日：5/30 Web会議
- (3) 第3回小学生専門委員会 期日：6/27 Web会議
- (4) 第4回小学生専門委員会 期日：7/18 Web会議
- (5) 第5回小学生専門委員会 期日：8/10 Web会議
- (6) 第1回全国拡大小学生委員会 期日：8/23 Web会議
- (7) 第6回小学生専門委員会 期日：9/21 Web会議
- (8) 第7回小学生専門委員会 期日：10/17 Web会議
- (9) 第8回小学生専門委員会 期日：11/29 Web会議
- (10) 第9回小学生専門委員会 期日：12/20 Web会議
- (11) 第10回小学生専門委員会 期日：12/27 Web会議
- (12) 第11回小学生専門委員会 期日：2/13 Web会議
- (13) 第8回全国U-12指導者研修会 期日：3/13 Web会議
- (14) 第33回全国小学生大会 中止

<中学生専門委員会>

- (1) 第1回中学生委員会 期日：5/23 Web会議
- (2) 第2回中学生委員会 期日：7/4 Web会議
- (3) 第3回中学生委員会 期日：8/5 Web会議
- (4) 第11回全国中学生クラブチームカップ 期日：8/12～15 中止
- (5) 第4回中学生委員会 期日：8/21 Web会議
- (6) 第1回全国中学校大会 期日：8/22～25 中止
- (7) 第5回中学生委員会 期日：9/25 Web会議
- (8) 第6回中学生委員会 期日：11/20 Web会議
- (9) 第7回中学生委員会 期日：12/17 Web会議
- (10) JOC全国大会 期日：12/25～27 中止
- (11) 第8回中学生委員会 期日：1/15 Web会議
- (12) 第9回中学生委員会 期日：3/1 Web会議
- (13) 第16回全国中学生ハンドボール選手権 期日：3/26～3/29 場所：富山県氷見市
- (14) 第10回中学生委員会 期日：3/27 Web会議

3. 競技運営に関する事業

1) 主要大会の管理・運営 (斜体は国際大会)

月	大会名	開催日程	開催地	結果
6月	第28回全日本マスターズ大会<順位決定型>	5/15～5/17	京都府・京田辺市	開催中止
	JAPAN CUP 2020 MEN	6/18・6/19	愛知県・刈谷市	開催中止
	JAPAN CUP 2019 WOMEN	6/25・26	富山県・富山市	開催中止
	第25回世界学生選手権	6/15～6/21	ポーランド	開催中止
7月	第40回全国クラブ選手権大会・西地区大会	7/04～7/05	愛媛県	開催中止
	第25回ジャパンオープントーナメント・三重国体リハーサル大会	7/11-14	三重県・鈴鹿市	開催中止
	第28回全日本マスターズ大会<交流型及び11人制の部>	7/31-8/2	愛知県・豊田市	開催中止
8月	第33回全国小学生大会	7/31-8/3	京都府・京田辺市田辺中央体育館他	開催中止
	高松宮記念杯第71回全日本高校選手権大会	8/4-9	岩手県・花巻市	開催中止
	第11回全国中学生クラブチームカップ	8/12-15	大阪府・堺市	開催中止
	第49回全国中学校大会	8/23-25	岐阜県・岐阜市	開催中止
	第47回全国高等専門学校選手権大会	8/28-30	兵庫県・神戸市	開催中止
9月	第22回全日本ビーチハンドボール選手権大会	9/12	愛知県・碧南市	男子 1;Cherry Blossom 2;BBJ 3;BHC TOCHIGI 女子 1;SWAG 2;Thetis 東京 3;HC fine
	第8回女子ユース世界選手権	9/29-10/11	クロアチア	開催中止
10月	第75回国民体育大会	10/4-8	鹿児島県・霧島市	開催延期 (2023年度実施)
11月	文部科学大臣杯第18回日本車椅子競技大会	11/9-10	福岡県・北九州市	開催中止
	高松宮記念杯男子第63回女子第56回全日本学生選手権大会	11/4-8	熊本県・熊本市	開催中止
12月	第72回日本選手権大会(男子の部)	12/2-6	岡山県・岡山市	1;豊田合成 2;大崎電気 3;トヨタ車体、大同特殊鋼

	第22回女子ジュニア世界選手権	12/1-13	ルーマニア	中止
	第72回日本選手権大会(女子の部)	12/23-27	石川県・金沢市	1;北國銀行 2;大阪体育大学 3;三重バイオレットアイリス・ソニー
	第29回JOCジュニアオリンピックカップ	12/24-27	埼玉県・さいたま市	開催中止
	第4回全日本マスターズ京田辺大会(シニアの部)ワールドマスターズゲームズ2021関西大会	12/26-27	京都府・京田辺市	開催中止
1月	第27回男子世界選手権大会	1/13-31	エジプト	1;デンマーク 2;スウェーデン 3;スペイン 19:日本
2月	全日本社会人チャレンジ2019	2/26-28	福井県・永平寺町	開催中止
3月	第45回日本リーグプレーオフ	3/12-14	東京都・国立代々木競技場 第一体育館	男子1;豊田合成 2;トヨタ車体 3;大崎電気 女子1;北國銀行 2;ソニー 3;イズミメイプルレッズ
	第15回春の全国中学生選手権大会	3/26-29	富山県・氷見市ふれあいスポーツセンター他	男子1;氷見市立北部中学校 2;土浦市立土浦第三中学校 3;東久留米市立西中学校、京田辺市立大住中学校 女子1;東久留米市立西中学校 2;大阪貝塚ジュニアクラブ 3;氷見市立西條中学校、氷見市立十三中学校
	第44回全国高等学校選抜大会	3/24-29	山梨県・甲府市、甲州市、山梨市	男子1;徳山商工高 2;大体大浪商高 3;県立国分高・神戸国際大付属高 女子1;名古屋経済大市邨高 2;昭和学院高 3;宣真高・佼成学園女子高

2) その他事業

- (1) JHA 主催大会のうち、日本選手権及び春の全国中学生大会の競技運営並びに支援にあたった。
- (2) 令和2(2020)年度チーム・選手・チーム役員登録業務を遂行した。
- (3) JHA オフィシャル・テクニカルデレゲートの任務を発行し、業務に関する周知を図った。また、2020年度版について、世界選手権で得たノウハウを基に、改訂版を発行した。審判長と共同で具体的なMO・TDの任務にも言及、事例研究も数多く掲載し、内容の見直し直しを図った。
- (4) 競技役員資質向上のための講習会について
 - 7月 三重県：ジャパンオープン、中止
 - 10月 鹿児島県霧島市：国体、中止
 - 3月 富山県氷見市：春中にて実施
- (5) 10月 第81回国民スポーツ大会(令和7(2025)年度)正規視察(宮崎県)を実施した。
- (6) 6月、10月、2月の3回実施予定の競技運営連絡協議会については、感染症拡大の影響で多くの大会が中止になったこともあり、会議も中止された。協議の必要のあるものについては、メール審議とした。
- (7) 東京オリンピック NTO (SK・TD、及びスカテイング) の養成・派遣については東京オリンピック延期に伴い、中止となった。
- (8) コロナウイルス感染症対策のガイドライン第2版を作成、公開した。また、日本選手権用の対策ガイドラインを作成し、運用した。また、このガイドラインはその後の全国大会でのガイドラインの範とした。
- (9) 競技本部関係規程・細則の見直しを行った。
 - ・ 競技用具検定規程 ・ 用具規格 ・ 競技者資格規程
 - ・ 登録規程 ・ 登録規程細則 ・ ユニホームに関するガイドライン

4. 審判に関する事業

1) 主な事業 (斜体は国際大会)

月	事業名	開催日・期間	開催地	概要および実績
8	第1回レフェリーアカデミー	8/2	オンライン	レフェリーアカデミー受講生および講師、競技本部長・審判本部長参加
	第45回日本ハンドボールリーグ開幕前審判研修会	8/8-10	オンライン	JHL 担当レフェリーおよび補員の34ペア(68名)および希望ブロック審判長が受講
	第45回日本ハンドボールリーグテクニカルオフィシャル研修会	8/16, 8/18	オンライン	新規担当者および希望者を対象に実施
9	第2回レフェリーアカデミー	9/13	オンライン	レフェリーアカデミー受講生および講師、競技本部長・審判本部長参加
	近畿ブロック AB 級審査会 (筆記試験のみ)	9/20	京田辺市	受験生16名・審査員2名参加
	第3回レフェリーアカデミー	9/27	オンライン	レフェリーアカデミー受講生および講師、競技本部長・審判本部長参加
10	北海道地区 B 級審査会	10/4-5	函館市	受験生3名・審査員2名参加
	近畿地区 B 級審査会 (実技)	10/10	奈良県 桜井市	受験生3名・審査員2名参加
	中国地区 B 級審査会	10/16-17	山口県 周南市	受験生2名・審査員2名参加
	東海地区 AB 級審査会	10/17-18	岐阜県 岐阜市	受験生4名・審査員2名参加
	第4回レフェリーアカデミー	10/17	オンライン	レフェリーアカデミー受講生および講師、競技本部長・審判本部長参加
	近畿地区 A 級審査会 (実技)	10/24-25	大阪府 池田市	受験生8名・審査員3名参加
	東海地区 B 級審査会	10/31	三重県 鈴鹿市	受験生2名・審査員2名参加
10 11	東北地区 AB 級審査会	10/31-11/1	岩手県 花巻市	受験生7名・審査員2名参加
11	第5回レフェリーアカデミー	11/1	オンライン	レフェリーアカデミー受講生および講師参加
	近畿地区 B 級審査会 (実技)	11/14-15	大阪府八尾市 奈良県生駒市	受験生5名・審査員2名参加
	第6回レフェリーアカデミー	11/22	オンライン	レフェリーアカデミー受講生および講師参加
	第7回レフェリーアカデミー	11/28	オンライン	レフェリーアカデミー受講生および講師参加
12	競技規則研究委員会・審判指導委員会合同会	12/6	岡山県 岡山市	競技本部長・審判本部長・競技規則研究委員・審判指導委員参加 2021年度審判研修資料作成
	第8回レフェリーアカデミー	12/12	オンライン	レフェリーアカデミー受講生および講師参加
	第9回レフェリーアカデミー	12/19	オンライン	レフェリーアカデミー受講生および講師参加
	東海地区 AB 級審査会	12/19-20	三重県 鈴鹿市	受験生2名・審査員2名参加
1	第10回レフェリーアカデミー	1/16	オンライン	レフェリーアカデミー受講生および講師参加
	審判部会	1/24	オンライン	競技・審判本部長・審判総務 他 審判合同会議に向けての打ち合わせ
	審判本部合同委員会	1/31	オンライン	競技・審判本部長・各専門委員会委員長・ブロック審判長・連盟審判長・審判総務委員
	第10回レフェリーアカデミー	1/16	オンライン	レフェリーアカデミー受講生および講師参加
2	2021年度全日本大会担当審判員候補者研修会	2/中旬-3/中旬	ブロック毎にオンラインで実施	ブロック毎に実施・ブロック長・ブロック審査員・連盟審判長参加
3	審判部会	3/13	東京都	競技本部長・審判本部長・各専門委員会委員参加 2021年度審判研修資料作成
	競技規則研究委員会・審判指導委員会合同会	3/14	東京都	競技本部長・審判本部長・競技規則研究委員・審判指導委員参加 2021年度審判研修資料作成

2) その他の事業

- (1) 文書の発送受付ならびに各種登録、会場手配、その他の諸手続（総務専門委員会）
- (2) 審判研修用資料の企画・制作（審査指導専門委員会、競技規則研究専門委員会）
- (3) 各全日本大会における審判技術の実態把握（審判本部長、連盟審判長、ブロック審判長）
- (4) 国際情報収集と競技規則書（インドア、ビーチハンドボール）他解説書等の作成（ビーチハンドボール専門委員会、競技規則研究専門委員会）
- (5) 他委員会等との連携強化（審判委員長、副委員長、日本リーグ審判専門委員会）

3) A/B級公認審判員審査結果

	平成 30(2018)年度		令和元(2019)年度		令和 2(2020)年度	
	A 級	B 級	A 級	B 級	A 級	B 級
審査申請者	47名	85名	51名	71名	15名	26名
書類不備	0名	0名	0名	0名	0名	0名
欠席	3名	4名	4名	6名	0名	5名
筆記試験不合格	2名	4名	11名	14名	0名	5名
実技試験不合格	27名	14名	29名	8名	8名	6名
体力試験不合格	2名	0名	9名	1名	0名	1名
合格者	16名	63名	15名	49名	7名	12名

※令和 2(2020)年度 A級：不合格者は全て実技において不合格
 B級：筆記のみ不合格者 3名、実技のみ不合格者 4名、
 筆記・実技ともに不合格者 1名、
 筆記・実技・体力ともに不合格者 1名

4) 公認審判員登録状況 ()内は女性

級	平成 30(2018)年度	令和元(2018)年度	令和 2(2020)年度
終身	79名 (1名)	77名 (1名)	61名 (3名)
国際	12名 (2名)	14名 (2名)	12名 (1名)
A 級	337名 (19名)	340名 (19名)	275名 (15名)
B 級	432名 (28名)	451名 (28名)	358名 (30名)
C 級	903名 (142名)	1,009名 (184名)	589名 (117名)
D 級	1,544名 (322名)	1,675名 (313名)	966名 (242名)
計	3,307名 (514名)	3,566名 (547名)	2,261名 (408名)

※2021年 2月 28日現在

5. 国際に関する事業

1) 日本代表チーム・役員・レフェリー等の派遣及び海外チーム招聘等に関する事業

日程	カテゴリー/参加者	大会名称	開催地
6月	男女U-24	第25回世界学生選手権 ※開催中止	ポーランド
	男子代表	JAPAN CUP 2019 (MEN) ※開催中止	愛知県・刈谷市
	女子代表	JAPAN CUP 2019 (WOMEN) ※開催中止	富山県・富山市
9月	女子U-18	第8回女子ユース世界選手権 ※開催中止	イタリア
12月	女子U-20	第22回女子ジュニア世界選手権 ※開催中止	ルーマニア
1月	男子代表	第27回男子世界選手権	エジプト
3月	男子U-21	第17回男子ジュニアアジア選手権 ※開催中止	バーレーン

2) 国際会議等ならびに派遣に関する事業

(1) IHF関係

- ① 第6回IHF理事会(2月 エジプト・カイロ)
- ② 第7回IHF理事会(4月 web会議)
- ③ 第8回IHF理事会(7月 web会議)
- ④ 第9回IHF理事会(9月 web会議)
- ⑤ 第10回IHF理事会(12月 web会議)
- ⑥ IHF理事会などの議事内容の翻訳作業を実施した。
- ⑦ 第27回男子世界選手権への代表チームの派遣業務の連絡調整を実施した。
- ⑧ IHFに関する事務的なエントリー手続き・諸連絡を実施した。

(2) AHF関係

- ① 各カテゴリーのアジア選手権の開催時期変更に対応した。
- ② AHF会議議題・議事録の翻訳作業を実施した。

3) その他の事業

- (1) 国際競技力向上を目的とし、平時であれば全ての国際大会への手続きを、事務局の国際対応機能を中心として対応するが、本年度はコロナ禍にあり、大会開催中止等で混迷をきわめたが、柔軟に対応した。
 - ▶ 男子代表を世界選手権大会にチームを滞りなく派遣することができたほか、他の開催中止となった大会への諸手続きを滞りなく完了した。関連する諸外国等機関との連携強化を図ることができた。
- (2) IHF、AHF および諸外国との関係強化および連携を目的とし、IHF/AHF等のオンライン会議へ出席した。
 - ▶ 国際的動静を把握し、各国際交渉の素地の形成に向けた機能強化が図れた。
- (3) JOC各種ミーティングに参加し、国際力強化を図った。
 - ▶ 各NFとの連携強化を確認し、東京オリンピック・パラリンピックへの協力体制を中心とし、国際力向上の機能強化を推進できた。

6. ハンドボール成長推進に関する事業

1) 第72回日本ハンドボール選手権大会

男子代表が第27回世界選手権(エジプト)に出場することで代表チームの強化を優先するため、男子の部の日程を変更して男女別開催とした。
男子の部は12/3~12/6の間で岡山県協会様、女子の部は12/23~12/27の間で石川県協会への委託方式を取り、開催を実施した。
また、男子の岡山大会については、地元企業の菅公学生服株式会社より手厚いご支援を頂き、「カンコー学生服」カップして大会を行った。

2) 第16回春の全国中学生選手権大会

全国より、男子45チーム女子44チームが参加したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今大会は無観客での開催を実施した。
また、全試合をYouTube「春中ハンド氷見市実行委員会 公式チャンネル」にて録画配信し、最終日の準決勝・決勝はライブ配信を行った。

3) 第44回全国高等学校選抜大会

新型コロナウイルス感染症拡大により、本大会への出場予選であるブロック予選が出来ない状況となったため、本大会への出場条件を都道府県の1位チームとして大会を実施した。
男子48チーム、女子48チームの参加であった。
また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今大会は無観客とし、全試合「Player!」にてライブ動画配信を行った。

4) ビーチハンドボール専門委員会

(1) 年間行事

イベント名	日程	場所
第22回全日本ビーチハンドボール選手権大会	9/12	愛知県碧南市
結果	【男子】優勝：Cherry Blossom、準優勝：B B J、3位：BHC TOCHIGI 【女子】優勝：SWAG、準優勝：Thetis東京、3位：HC fine	

(2) ビーチハンドボールプロジェクト

延期となっていた、渋谷区でのショーケースは2021年7月開催に向けて調整中。

集客が見込める神奈川県三浦市にて第22回全日本ビーチハンドボール選手権大会開催を予定していたが、コロナの影響により海岸の使用が禁止となったため、急遽愛知県碧南市へ開催地を変更することとなった。コロナで大会が中止となる中、関係者の皆様の協力によって、コロナ感染者を出すことなく、コロナ禍での大会運営をすることができた。

また、無観客での大会開催だったため、戦略企画委員会と協力し、ネット配信、MCによるショーアップによって大会を盛り上げることができた。

7. 総務に関する事業

1) 諸会議の開催

コロナ禍の為、Web 会議にて実施。

- (1) 評議員会 8/1(東京・Web 会議併用)、9/30(書面開催)、3/6(東京・Web 会議併用)
- (2) 理事会 6/7、8/3(書面開催)、9/12、11/14、2/13
- (3) 常務理事会 4/5、5/16、7/11、10/17、12/12、1/16、3/13
- (4) 全国理事長会議 10/3、2/14

2) 新型コロナ禍対応

(1) 事務局業務

在宅勤務（リモート業務）を採用。

3) 「がんばれハンドボール 20 万人会」サポート会

(1) JHA における位置付け（後援会またはファンクラブ）の整理を開始

(2) 2020 年度サポート会員総数（2021 年 3 月 31 日現在（カッコ内は前年比））

特別会員	0 名	(±0)
グランド会員	110 名	(▲86)
フレンド会員 (旧ファミリー会員)	18 名	(▲9)
ジュニア会員	2 名	(▲2)
都道府県フレンド会員 (旧都道府県ファミリー会員)	58 名	(▲136)
都道府県グループ会員	6,043 名	(▲2,959)
総数	6,231 名	(▲3,274)

8. 財務・会計に関する事項

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、東京 2020 オリンピック競技大会が 1 年延期、代表活動自粛、全てのカテゴリーにおいて競技活動の自粛や大会がいくつも中止となった。

各事業においては、中止もしくは方法を変え実施、またはコロナ対策を行い実施した。

経常収益は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による登録者が減少したことで受取会費が前年度比 58 百万円減少の 301 百万円、大会開催中止等により事業収入が前年度比 38 百万円減少の 240 百万円、各種事業の中止、縮小により受取補助金等が前年度比 122 百万円減少の 122 百万円となり前年度比 235 百万円減少の 722 百万円となった。

経常費用は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による国内移動自粛、事業中止および縮小により前年度比 461 百万円減少の 548 百万円となった。

その結果、当期経常増減額は、前期比 226 百万円増加の 174 百万円となった。

また、特定資産については、男子日本代表・世界選手権出場により 7 百万円を取り崩し、次期以降の事業伴う積立とし、189 百万円を新たに積立て、当期末残高 315 百万円となった。

9. スポーツ・インテグリティに関する事項

1) 医事活動および医科学調査研究(医事専門委員会)

(1) 医事専門医委員会／アンチ・ドーピング特別委員会

- 公認資格取得
 - (公財) 日本体育協会公認資格・スポーツドクター受講者推薦
 - (公財) 日本体育協会公認資格・スポーツデンティスト受講者推薦
 - (公財) 日本体育協会公認資格・アスレティックトレーナー受講者推薦
- 臨時合同会議 11月13日(金): Zoom 会議 出席委員 13名
 - WADA code の規程改定に伴う、18歳未満競技者の変更について
 - 日本選手権(男女)のドクター派遣について
 - 新型コロナウイルス感染症対策について
- JHA安全対策チーム
 - ハンドボール競技における、安全対策管理チームを発足
- ドクター派遣
 - ① 全日本ビーチハンドボール選手権大会
期日: 9月12日、場所: 愛知県・碧南緑地公園ビーチコート
派遣ドクター: 丸子誉士宏
 - ② 2020年度 おりひめジャパン・コンディショニングクリニック
期日: 11月24日、場所: 味の素NTC
派遣ドクター: 10名、対象: おりひめジャパン候補選手 約29名
 - ・ハンドボールに関する各種測定(フィールド測定・筋力測定等)
 - ・動作機能評価と修正トレーニング・競技スキル
 - ・バランスチェック・傷害調査・セルフコンディショニングツール(ONE-TAP)
 - ・栄養指導・アンチ・ドーピング研修・メンタル指導・行動規範指導
 - ③ 第27回男子ハンドボール世界選手権
期日: 1月13日～1月31日、場所: エジプト
帯同ドクター: 沖本信和
 - ④ 第72回日本ハンドボール選手権・男子の部
期日: 12月2日～6日、場所: 岡山県・岡山県総合グラウンド体育館
派遣ドクター: 沖本信和、有田忍、森實岳史、清水健太、井上卓
 - ⑤ 第72回日本ハンドボール選手権・女子の部
期日: 12月23日～27日、場所: 石川県・いしかわ総合スポーツセンター
派遣ドクター: 北岡克彦、徳海裕史、中村琢哉、丸箸兆延、浅井一希
 - ⑥ 第45回ANACUP日本ハンドボールリーグプレーオフ
期日: 3月12日～3月14日、場所: 東京都/国立代々木競技場・第一体育館
派遣ドクター: 村上浩平、桂健生
 - ⑦ ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト 3期生
期日: 10月9日～12日、場所: 北海道・札幌市
派遣ドクター: 佐久間克彦
期日: 2月26日～3月1日、場所: 宮城県・仙台大学
派遣ドクター: 佐久間克彦

2) スポーツ・インテグリティ教育(アンチ・ドーピング特別委員会)

(1) アンチ・ドーピング研修会

- ① 女子日本代表強化合宿
期日: 11月9日、場所: 味の素NTC 派遣講師: 井本光次郎
- ② 男子日本代表強化合宿

期日：11月13日、場所：味の素NTC 派遣講師：沖本信和

(2) アンチ・ドーピングアウトリーチ活動

① コロナ感染症で大会事業が中止の為、開催中止

(3) ドーピング検査 (NFR 派遣)

① 第72回日本ハンドボール選手権・男子の部

期日：12月3日～5日、場所：岡山県・岡山県総合グラウンド体育館

派遣NFR：清水茂樹、原田悟

② 第72回日本ハンドボール選手権・女子の部

期日：12月23日～27日、場所：石川県・いしかわ総合スポーツセンター

派遣NFR：原田悟

3) ガバナンス・コンプライアンス

(1) スポーツ団体ガバナンスコード遵守に向けた取り組み

① 2020年度においてスポーツ団体に求められる、ガバナンスコード策定の前段階として、ハンドボール協会全体の取り組み(13の原則に基づいて)として、課題抽出・自己分析を経て自己説明・公表(2020年3月HPに公開)を実施。

② 2021年度7月に実施される適合性審査(本審査)に向けて、スポーツ団体における自ら遵守すべき基準を満たすべく各基準策定に着手した。

- ・ 「ビジョン・ミッション・バリュー(以下、VMV)」プロジェクトチームによる策定
- ・ VMVに紐づく中期基本計画策定(各本部)への準備
- ・ VMV紐づくに各規程類見直し(各本部)への準備

10. 広報に関する事業

1) 記者会見

(1) 11/5男子代表監督、2/17 JHL新代表理事就任、3/17男子代表監督

*コロナウイルス感染対策のため、全てリモートで開催。

(2) 主要な大会・関連取材・情報提供

8/29日本リーグ開幕、9/12全日本ビーチハンドボール選手権、12/2～6男子日本選手権、12/23～27女子日本選手権、1/13～31男子世界選手権、3/12～14日本リーグプレーオフ、3/24～29高校選抜、3/26～29春の全国中学生選手権

2) 代表合宿メディア公開 *コロナウイルス感染対策のため、実施せず。

3) ハンドボールサロン *コロナウイルス感染対策のため、実施せず。

4) プレスリリース(メールによるリリースも含む)

男女日本代表情報、国内大会結果配信、マイハンドボール稼働、新規協賛など多数。

5) 個別選手取材：土井レミイ杏利選手など多数。

6) SNS：従来からの公式Facebook、Instagram、YouTube、及び日本代表応援団サイトに加えて、公式twitterを開設。

※ 現在のフォロワー数

公式 Facebook=約11,200-、公式 Instagram=約10,300-、公式 twitter=5,700-

応援団 Twitter=約6,000-、応援団 Instagram=約4,400-

男女日本選手権、男子世界選手権での機運醸成・速報・プレス向け情報収集。

高校選抜大会、春の中学生大会での機運醸成・クラウドファンディング援助・速報。

7) 試合放映

地上波テレビ中継：12/6男子日本選手権決勝 =NHK Eテレ

インターネット動画配信：9/12全日本ビーチハンドボール選手権、12/4～6日本選手権(男子の部)、12/25～27：日本選手権(女子の部)、3/24～29全国高校選抜大会

- 8) 2020 東京オリンピック関連：ルール 40 啓蒙などを実施。
- 9) 機関誌：
当初計画通り年間 12 回の毎月発行を実施。大会報告については、JHA ホームページに掲載されている大会の戦評およびスコアを有効に利用し、編集業務を軽減。
施策方針・理事会・各委員会組織からの情報発信として、会議議事録の掲載のほか事業計画、医事委員会、審判委員会、指導委員会などからの方針や報告を適宜掲載。
* 2021 年 4 月で発行を終了。
- 10) その他：
インターネット専門委員会を解散し、メンバーを広報委員会、マーケティング委員会に再配置。*4 月 30 日の広報委員会で機関誌編集専門委員会も解散を決議

1 2. マーケティングに関する事業

- 1) マーケティング収入
収入予算 (150 百万円) に対して実績 90.2% (前年比 81.0%)。
新型コロナウイルスの影響による協賛金の減額。日本選手権女子の部の収入減。
- 2) 協賛社との契約など
 - (1) 既存オフィシャル・パートナー、オフィシャル・スポンサーの契約延長及び継続。
協賛メニューの運用。
契約更新の交渉と並行に 1 年延長 (2021 年度まで) を基本として契約交渉。
 - (2) オフィシャル・スポンサー新規 1 社契約。
 - (3) 全日本ビーチ選手権、日本選手権、高校選抜など個別大会協賛社の獲得。
日本選手権男子の部 (岡山) での冠協賛獲得。
 - (4) 既存オフィシャルツアーリスト 4 社による旅行会社登録制度の更新と運用。
 - (5) JOC ジュニアオリンピックの旅行社入札。
 - (6) 販売・配布用新規グッズの開発。

1 3. アスリート支援に関する事業

- 1) アスリート委員会の設置
 - (1) アスリート委員会設置のための諸調査を経て、アスリート委員会の設置を完了。
 - (2) 委員会設置にともない委員会規定を制定。
 - (3) 委員会初期メンバー構成を完了。
- 2) 日本ハンドボール協会に相応しい本委員会機能の在り方に関する検討
 - (1) 前年度に引き続き、アスリート委員会準備委員会において継続検討を実施。
 - ① 競技発展に向けたアスリート機能の可能性について
 - ② アスリート委員会からの意見具申の在り方について
 - ③ 他競技との連携について
 - ④ 上部団体との連携について
 - ⑤ 本協会内、他部署との連携について
 - ⑥ 国際的連携について
 - ⑦ アスリート委員会の規程策定について
 - ⑧ アスリート環境調査について (調査範囲の検討)

1.4. 日本リーグに関する事業

1) 第45回日本ハンドボールリーグ

- 大会名 第45回日本ハンドボールリーグ
 主催 公益財団法人日本ハンドボール協会、日本ハンドボールリーグ機構
 主管 日本ハンドボールリーグ委員会、開催地都道府県ハンドボール協会
 開催権取得団体
 開催期間 レギュラーシーズン 2020年8月29日(土)～2021年2月28日
 プレーオフ 2020年3月12日(金)、13日(土)、14日(日)
 競技方法 男子11チーム(2回戦総当り)、女子9チーム(2回戦総当り)
 レギュラーシーズン(リーグ戦)をおこなう。
 男子上位4チーム、女子上位4チームによるプレーオフを実施。
 プレーオフは、ステップラダー方式によるトーナメント戦
 参加チーム 全20チーム

男子	女子
大崎電気 OSAKI OSOL	プレステージ・インターナショナル アランマーレ
トヨタ自動車東日本 REGAROSSO	北國銀行 Honey Bee
ジークスター東京	飛騨高山ブラックブルズ岐阜
北陸電力ブルーロケッツ	HC名古屋
大同特殊鋼 Phenix	三重バイオレットアイリス
トヨタ車体 BRAVE KINGS	大阪ラヴィッツ
豊田合成 Blue Falcon	イズミメイプルレッズ
湧永製菓 WAKUNAGA LEOLIC,	オムロン ピンディーズ
ゴールデンウルヴス福岡	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング Blue Sakuya
トヨタ紡織九州 Red Tornado	
琉球コラソン	

[男子レギュラーシーズン順位]

順位	男子	豊田合成	トヨタ車体	大崎電気	大同特殊鋼	湧永製菓	トヨタ紡織九州	ジークスター東京	北陸電力	トヨタ自動車東日本	琉球コラソン	ウルヴス福岡	試合数	勝数	引分数	敗数	総得点	総失点	差	勝点
1	豊田合成	27 28 ○ ● 25 33	32 33 ○ ○ 30 29	31 37 △ ○ 31 30	29 37 ○ ○ 24 23	32 37 ○ ○ 21 28	36 32 ○ ○ 30 26	33 16 ○ ○ 20 0	31 34 ○ ○ 27 18	34 33 ○ ○ 25 24	31 16 ○ ○ 18 0	20	18	1	1	619	462	157	37	
2	トヨタ車体	25 33 ● ○ 27 28	31 35 ● ○ 34 29	38 29 ○ ○ 34 28	33 24 ○ ● 29 28	36 32 ○ ○ 24 28	34 24 ○ ● 27 27	45 33 ○ ○ 25 25	33 29 △ ○ 33 19	36 33 ○ ○ 27 26	38 41 ○ ○ 17 18	20	15	1	4	662	533	129	31	
3	大崎電気	30 29 ● ● 32 33	34 29 ○ ● 31 35	32 34 ● ○ 38 30	29 25 ○ ○ 28 23	27 34 △ ○ 27 21	33 23 ○ △ 26 23	34 33 ○ ○ 26 22	29 31 ○ ○ 23 27	29 36 ○ ○ 18 30	33 29 ○ ○ 17 18	20	14	2	4	613	528	85	30	
4	大同特殊鋼	31 30 △ ● 31 37	34 28 ● ● 38 29	38 30 ○ ● 32 34	33 26 ○ ○ 31 24	31 25 ○ ● 29 32	30 30 ○ ● 28 33	36 31 ○ ○ 32 26	31 27 ○ ○ 29 26	33 33 ○ ○ 22 31	35 16 ○ ○ 20 0	20	13	1	6	608	564	44	27	
5	湧永製菓	24 23 ● ● 29 37	29 28 ○ ○ 33 24	28 23 ● ● 29 25	31 24 ● ● 33 26	28 24 ○ ○ 29 30	30 30 ○ ○ 19 29	30 35 ○ ○ 24 30	24 32 △ ○ 24 29	32 32 ○ ○ 23 27	35 36 ○ ○ 13 15	20	10	1	9	578	528	50	21	
6	トヨタ紡織九州	21 28 ● ● 32 37	24 28 ● ● 36 32	27 21 △ ● 27 34	29 32 ○ ○ 31 25	29 30 ○ ○ 28 24	29 29 ○ ○ 25 22	26 25 ○ ● 25 37	27 25 ● ● 31 29	22 36 △ ○ 22 26	31 29 ○ ○ 22 15	20	9	2	9	548	560	-12	20	
7	ジークスター東京	30 26 ● ● 36 32	27 27 ○ ○ 34 24	26 23 ○ △ 33 23	28 33 ● ● 30 30	19 29 ○ ● 30 30	25 22 ● ● 29 29	34 16 ○ ○ 38 0	31 25 ○ ● 28 26	22 33 △ ○ 22 24	16 16 ○ ○ 0 0	20	7	2	11	508	498	10	16	
8	北陸電力	20 0 ● ● 33 16	25 25 ● ● 45 33	26 22 ● ● 34 33	32 26 ● ● 36 31	24 30 ○ ○ 30 35	25 37 ○ ○ 26 25	38 0 ○ ○ 34 16	31 35 ○ ○ 28 31	27 29 ● ● 30 28	16 29 ○ ○ 0 24	20	7	0	13	497	568	-71	14	
9	トヨタ自動車東日本	27 18 ● ● 31 34	33 19 △ ● 33 29	23 27 ● ● 29 31	29 26 ● ● 31 27	24 29 △ ● 24 32	31 29 ○ ○ 27 25	28 26 ○ ● 31 25	28 31 ● ● 31 35	24 28 ● ○ 27 27	27 16 ○ ○ 22 0	20	6	2	12	523	551	-28	14	
10	琉球コラソン	25 24 ● ● 34 33	27 26 ● ● 36 33	18 30 ● ● 29 36	22 31 ● ● 33 33	23 27 ● ● 32 32	22 26 △ ● 22 36	22 24 △ ● 22 33	30 28 ○ ○ 27 29	27 27 ● ● 24 28	31 16 ○ ○ 22 0	20	4	2	14	506	574	-68	10	
11	ゴールデンウルヴス福岡	18 0 ● ● 31 16	17 18 ● ● 38 41	17 18 ● ● 33 29	20 0 ● ● 35 16	13 15 ○ ○ 35 36	22 15 ● ● 31 29	0 0 ○ ○ 16 16	0 24 ○ ○ 16 29	22 0 ● ● 27 16	22 0 ○ ○ 31 16	20	0	0	20	241	537	-296	0	

[女子レギュラーシーズン順位]

順位	女子	北國銀行	イズミメイプルレッズ	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	三重バイオレットアイリス	オムロン	HC名古屋	プレステージ・インターナショナルアランマーレ	大阪ラヴィッツ	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	試合数	勝数	引分数	敗数	総得点	総失点	差	勝点
1	北 國 銀 行		25 30 ● ○ 29 28	28 21 ○ ● 20 23	33 31 ○ △ 23 31	28 31 ○ ○ 17 23	28 36 ○ ○ 13 19	33 27 ○ ○ 21 19	39 43 ○ ○ 24 16	28 32 ○ ○ 23 10	16	13	1	2	493	339	154	27
2	イズミメイプルレッズ	29 28 ○ ● 25 30		24 24 ○ ○ 16 16	20 18 ● ○ 29 14	23 18 ○ ● 17 23	24 18 ○ ○ 14 17	25 23 ○ ○ 17 16	22 26 ○ ○ 21 23	22 27 ○ ○ 14 12	16	13	0	3	371	304	67	26
3	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	20 23 ● ○ 28 21	16 16 ● ● 24 24		23 22 ○ ○ 22 15	22 31 ○ ○ 19 21	26 22 ○ ○ 21 16	27 27 ○ ○ 21 21	29 35 ○ ○ 22 23	33 31 ○ ○ 17 18	16	13	0	3	403	333	70	26
4	三重バイオレットアイリス	23 31 ● △ 33 31	29 14 ○ ● 20 18	22 15 ● ● 23 22		29 18 ○ ● 20 25	24 29 ○ ○ 19 17	20 22 ○ △ 17 22	34 27 ○ ○ 24 17	30 30 ○ ○ 21 21	16	9	2	5	397	350	47	20
5	オムロン	17 23 ● ● 28 31	17 23 ○ ● 23 18	19 21 ● ● 22 31	20 25 ○ ● 29 18		19 23 ● ● 20 25	27 25 ○ ○ 20 20	28 35 ○ ○ 18 20	25 20 ○ ○ 16 12	16	8	0	8	367	351	16	16
6	HC名古屋	13 19 ● ● 28 36	14 17 ● ● 24 18	21 16 ● ● 26 22	19 17 ● ● 24 29	20 25 ○ ○ 19 23		30 18 ○ ● 24 22	23 22 ○ ● 16 31	24 19 ○ ○ 19 15	16	6	0	10	317	376	-59	12
7	プレステージ・インターナショナルアランマーレ	21 19 ● ● 33 27	17 16 ● ● 25 23	21 21 ● ● 27 27	17 22 ● △ 20 22	20 20 ● ● 27 25	24 22 ● ○ 30 18		29 29 ● ○ 30 25	25 20 ○ ○ 20 16	16	4	1	11	343	395	-52	9
8	大阪ラヴィッツ	24 16 ● ● 39 43	21 23 ● ● 22 26	22 23 ● ● 29 35	24 17 ● ● 34 27	18 20 ● ● 28 35	16 31 ● ○ 23 22	30 25 ○ ● 29 29		23 17 ○ ● 21 22	16	3	0	13	350	464	-114	6
9	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	23 10 ● ● 28 32	14 12 ● ● 22 27	17 18 ● ● 33 31	21 21 ● ● 30 30	16 12 ● ● 25 20	19 15 ● ● 24 19	20 16 ● ● 25 20	21 22 ● ○ 23 17		16	1	0	15	277	406	-129	2

レギュラーシーズン表彰

[男子]

年間最優秀選手賞	趙 顯章	(豊田合成)	初	
	元木 博紀	(大崎電気)	3 回目	
	小塩 豪紀	(豊田合成)	初	
	東江 雄斗	(大同特殊鋼)	4 回目	
ベストセブン賞	趙 顯章	(豊田合成)	4 回目	
	吉野 樹	(トヨタ車体)	3 回目	
	中村 匠	(豊田合成)	初	
	橋本 明雄	(豊田合成)	3 回目	
ベストディフェンダー賞	小賀野 龍也	(湧永製薬)	初	
最優秀新人賞	細川 智晃	(ジークスター東京)	-	
得点王	稲毛 隆人	(湧永製薬)	初	124 点
フィールド得点賞	川島 悠太郎	(北陸電力)	初	103 点
シュート率賞	出村 直嗣	(豊田合成)	初	0.775 (79/102)
7m スロー得点賞	杉岡 尚樹	(トヨタ車体)	初	35 点
シュート阻止率賞	加藤 芳規	(トヨタ車体)	初	0.392 (135/344)
7m スロー阻止率賞	小峰 大知	(トヨタ紡織九州)	初	0.345 (10/29)
フェアプレー賞	ゴールデンウルヴス福岡		2 回目	3.769 点/試合

[女子]

年間最優秀選手賞	板野 陽	(イズミメイプルレッズ)	初	
	秋山 なつみ	(北國銀行)	2 回目	
	團 玲伊奈	(三重バイオレットアイリス)	2 回目	
	近藤 万春	(イズミメイプルレッズ)	初	
ベストセブン賞	藤井 紫緒	(大阪ラヴィッツ)	8 回目	
	佐々木 春乃	(北國銀行)	3 回目	
	板野 陽	(イズミメイプルレッズ)	2 回目	
	永田 美香	(北國銀行)	初	
ベストディフェンダー賞	堀川 真奈	(イズミメイプルレッズ)	初	
最優秀新人賞	秋山 静香	(イズミメイプルレッズ)	-	
得点王	藤井 紫緒	(大阪ラヴィッツ)	2 回目	109 点
フィールド得点賞	秋山 なつみ	(北國銀行)	初	93 点
シュート率賞	永田 美香	(北國銀行)	初	0.831 (64/77)
7m スロー得点賞	吉田 起子	(オムロン)	3 回目	43 点
シュート阻止率賞	板野 陽	(イズミメイプルレッズ)	初	0.464 (218/470)
7m スロー阻止率賞	白石 さと	(オムロン)	初	0.438 (7/16)
フェアプレー賞	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング		3 回目	4.313 点/試合

観客動員数

[観客数]

開催レベル	実施試合数	来場者数合計	平均観客数
レベル1	59 試合		
レベル2	114 試合	37,601 名	336 名

開催レベル		試合数	来場者数合計	平均観客数
男子	レベル1	29 試合		
	レベル2	72 試合	25,247 名	356 名
	中止	9 試合		
子女	レベル1	30 試合		
	レベル2	42 試合	12,474 名	312 名

※チーム毎の集計は開催レベルに差があるため集計せず。

2) 第11回チャレンジ・ディビジョン

東ブロック 順位		西ブロック 順位	
1 位	HONDA	1 位	HC 名古屋
2 位	ブレスド名古屋	2 位	SOCIO OSAKA
3 位	エイナック スコップスオウルズ	3 位	HC・MKA 奈良
4 位	トヨタ自動車	4 位	HC デンジャラス
5 位	HC 岐阜	5 位	八光自動車工業
6 位	同朋クラブ		

順位決定戦 最終順位	
1 位	HONDA
2 位	ブレスド名古屋
3 位	エイナック スコップスオウルズ
4 位	SOCIO OSAKA
5 位	HC デンジャラス
6 位	HC・MKA 奈良
7 位	トヨタ自動車
8 位	HC 岐阜
9 位	同朋クラブ
10 位	八光自動車工業

※HC 和歌山は順位決定戦不参加

3) 第9回JHLジュニアリーグ試合結果

新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大の影響をうけ、今年度は東西ブロック大会および優勝決定戦の開催を中止

15. 東京オリンピック・パラリンピックプロジェクト

1) 東京オリンピック国内競技役員（NTO）の推薦

NTOについて、スカウティング16名、ローカルタイムキーパー・スコアラー16名を選出、組織委員会に推薦した。IHFからの正式な承認が下り、オリンピックでジャッジーズテーブル、スカウティング業務を担当することとなった。

2) 東京オリンピック競技運営スタッフの推薦並びに派遣（日本協会からの出向）

ハンドボール競技の運営スタッフ（有給者）について、日本協会、東京都協会など多方面から推薦をいただき、派遣することとなった。競技備品、FOP、練習会場、IFサービスなど様々な職種に10名が配置されている。オリンピックが日本協会にとっても人材のレガシーとなることが期待される。なお、日本協会事務局からも家永職員が出向し、4月から組織委員会で従事している。

3) 競技ボランティア募集に向けた関係団体との調整

オリンピック延期に伴い、引き続き競技本部及び全日本学生ハンドボール連盟と連携し、大会ボランティア募集を行った。

4) 気運醸成事業（自治体への協力）

- (1) 出前授業 文京区（1校69名＝大塚小）
渋谷区（6校329名＝笹塚小、広尾小、松濤中、富谷小、猿樂小、常磐松小）
- (2) 渋谷区民へのメッセージ 信太選手VTR＝渋谷区ホームページで公開

16. 戦略企画委員会

1) 新会員登録システム「マイハンドボール」

大日本印刷(株)の「DNPスポーツ情報管理サービス」を採用し、ハンドボール関係者の会員情報を一元的に管理するプラットフォームを構築。2021年3月より運用開始。

今後は、登録者の競技体験向上を狙いに、大会記録のデータベース化を進め、登録者が閲覧できる仕組みを構築予定。

2) 戦略的普及・マーケティング（スポーツ産業の成長促進事業）

スポーツ庁の中央競技団体の経営力強化推進事業に採択され、マイハンドボールの構築に加えて以下のプロジェクト（2020年度から4年間）を企画。

- ① 試合スタッツ全網羅 PJT
- ② Over18 PJT
- ③ 指導者・審判・競技役員サポート PJT
- ④ 動画再活用 PJT
- ⑤ 攻めの広報 PJT

事業初年度は5つのプロジェクトのベースとなるインフラ整備を実施し、仮説の検証となるアンケート調査を実施した。また、上記プロジェクトについても、初年度より着手できる事項を実施。

※事業詳細はスポーツ庁ホームページに記載

https://www.mext.go.jp/sports/content/20210430-spt_sposeisy-300000952_13.pdf